

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ  
川崎市外国人市民代表者会議  
(第13期 第1年 第3回 第2日)  
ぎじろく  
議事録

1 日時 2020(令和2)年12月13日(日) 午後2時00分～4時30分

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 24人

アディティア ワルマン、カイ イーモンタン、金 海花、グエン  
テイトウチャン、児玉 ノンティシャー、シン バスカ バハドール、  
スカーフ サラ デイナ、スチエタ スリニヴァサン、池 垠伊、張 亮、  
チョ チョ カイン、ドウマヤス アリヤン、バテネフ アルチョム、ペレーラ  
ラヒル サンケータ、ボール ウツザル クマル、ボソ ミゲル アンヘル、  
前田 喜与美、ムハマド アイマン アリフ、ユデク マルチン、尹 智夏、李  
歓歓、劉 愛玲、レイバーマン ケビン、和田 恵麗奈

(2) 事務局

小川 課長、長沼 担当課長、佐藤 課長補佐、植 主任、日下部 職員、高橋  
専門調査員

4 傍聴者 5人

5 会議次第(公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

## 【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2020年度第3回第2日を開催する。今日は、許さん、マリさんが欠席だ。それでは、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いする。」

(事務局佐藤課長補佐が説明)

ペレーラ委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし) それでは、議事に入る。まずは、2020年度年次報告書についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局日下部職員が資料2に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし) では、案のとおりに進めるということで賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成) 次に、臨時会についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。」

レイバーマン委員「6つの審議テーマについてアンケートすることはわかったが、具体的な質問は事務局が考えるのか。それとも、私たちが考えるのか。」

事務局高橋専門調査員「審議テーマに限定はしているが、自由に意見や要望を書いてもらうことを想定しているので、質問や選択肢を設けるタイプのものではないと考えている。」

レイバーマン委員「理解した。もう1つ、アンケートは事前に会議で確認して承諾するのか。あるいは、内容を確かめることができるか。」

事務局高橋専門調査員「4月の会議に間に合わせるためには、2月の月上旬に実施する必要がある。そうすると、代表者会議のタイミングには合わない。先ほど説明したように、質問や選択肢を設けるものではないので、会議に諮る必要はないと考える。ただし、みなさんに翻訳してもらうので、その際に内容を確認してもらうことはできる。」

ペレーラ委員長「今の回答でよいか。」

レイバーマン委員「それでよい。」

ペレーラ委員長「ほかに何かあるか。」

劉委員「アンケートの際に電話番号かメールアドレスを聞いておいた方がよいので

はないか。回答について聞きたいことがあった場合に確認ができる。」

事務局高橋専門調査員「追加で確認したいことが出てくるかもしれないが、そこまでの対応は難しいと思う。書いてあることから読みとれる範囲に留めていただきたい。」

劉委員「了解した。」

アディティア委員「回答の集約はどうやるのか。事務局でしてくれるのか。」

事務局高橋専門調査員「多言語で返ってきた回答は、みなさんに翻訳してもらう必要がある。翻訳の割り振りやとりまとめは事務局がするが、統計的に分析するような作業はない。」

李委員「いただいた意見については、何かコメントをつけて返すのか。」

事務局高橋専門調査員「資料にあるとおり、代表者会議としての見解をホームページで公開することを考えている。」

ペレーラ委員長「ほかに何かあるか。（なし）では、案のとおりで賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）次に、専門家の招致について何か意見はあるか。（なし）では、案のとおりで賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）それでは、最後にオンライン・アンケートの翻訳担当者を決めたい。（希望者を募り翻訳担当者を決定）それでは、この後は部会審議だ。全体会の再開は16時10分からでお願いする。」

### 【国際コミュニティ部会】

前田部会長「それでは、部会を始める。まずは、事務局から説明をお願いする。」

（事務局日下部職員が資料4に基づき説明）

前田部会長「では、まずは部会の名前について決めたい。事務局からの説明をお願いする。」

（事務局日下部職員が資料4-1に基づき説明）

前田部会長「何か質問はあるか。（なし）では、意見はあるか。私は、「多文化共生」がよいのではないかとと思う。」

張副委員長「資料にはキーワードが3つあるが、全部つなげて「地域多文化共生」はどうか。」

スカーフ委員「キーワードを使っていないが、「国際コミュニティ」はどうか。」

スチエタ委員「オンラインもつけて「国際オンラインコミュニティ」はどうか。」

李委員「私は「地域生活」を提案したい。」

前田部会長「そろそろ決をとりたい。順番に読みあげるので、1人1回手を挙げてく  
ださい。」

多文化共生部会・・・3人

地域多文化共生部会・・・2人

国際コミュニティ部会・・・7人

国際オンラインコミュニティ部会・・・0人

地域生活部会・・・0人

前田部会長「多数決の結果、部会の名前は「国際コミュニティ部会」に決まった。次  
に、今日の審議テーマである異文化交流について事務局から説明をお願いす  
る。」

(事務局日下部職員が資料4-2に基づき説明)

前田部会長「何か質問はあるか。」

グエン委員「各区でも取組があると思うが、それらと国際交流センターは連携をとっ  
ているのか知りたい。」

事務局日下部職員「とくに運動して企画している取組はないと思う。」

張副委員長「2020年4月に新しい部署ができて、そこでラウンジについて検討  
しているということだが、何か課題などがあれば教えて欲しい。」

事務局日下部職員「今年から多文化共生推進課になって、ラウンジについてもあらた  
めて検討を進めていこうということだ。今の段階で具体的に話が進んでいる  
わけではない。」

前田部会長「何か意見はあるか。」

張副委員長「国際交流センターの課題は、いろいろな取組をしているがそれが  
外国人市民に届いていないことだ。この代表者会議をうまく使って情報発信で  
きるとよいのではないか。」

グエン委員「国際交流センターのチラシを駅に置いたり、留学生のいる学校に置いた  
り、技能実習生が働いている会社などに置かせてもらってはどうか。」

池委員「今の課題について3つくらいのことを考えた。1つ目は、今あるいろい  
ろな取組は若者層が中心なのではないかと感じた。これからは高齢化とか介護の  
問題についても、取組が必要になってくるのではないか。2つ目に、いろい  
ろな取組はあるが、やはり知られていないというのが現状だと思う。コロナ禍で  
の利用対策も考えた方がよいと思う。3つ目に、文化に関する活動と取組が  
多く、重複もあると感じた。今後のこととしては、拠点ごとに専門性を持たせ

るのもよいかもしれない。もちろん、各拠点で文化に関することをやってもよいと思う。」

事務局日下部職員「専門性を持たせるといのはどのようなイメージなのか。」

池委員「私たちから何かして欲しいと意見を出してもそれぞれの組織の事情もあると思うので、それならそれぞれの特徴を活かした方が効率的かと考えた。」

和田委員「外国人に情報が届いていないという問題だが、もう少しSNSやインターネットをうまく使うことができないかと思う。今日、YouTubeを見ていたら神奈川県黒岩知事が出てきて健診についてPRしていた。イベントについても、1分くらいの動画を作成して国際交流センターや川崎市のホームページに載せたり、区役所のモニターに映したりしたらよいのではないか」

李委員「国際交流センターと比べると、図書館や市民館の認知度は高い。中国では、国際交流センターのようなものはないが、図書館や市民館のようなものはある。それはほかの国でも同じではないか。この図書館や市民館に窓口が設置できないか。」

前田部会長「そろそろ時間なので、異文化交流についてはここまでとしたい。次回の審議テーマがだが、今日との関連で地域貢献にしてはどうか。賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）では、資料のリクエストは何かあるか。」

張副委員長「外国人市民のボランティアの状況について情報が欲しい。それと、どのような取組が必要なのかを知るために、新しく会議をつくったらどうかと思う。そこで、この代表者会議がどのようにしてつくられたのか、背景を知りたい。」

事務局日下部職員「区によっては、まちづくり協議会のような組織もあるので、そうしたものを紹介したい。」

前田部会長「それでは、今日の部会はここまでとする。」

#### 【地域安全部会】

児玉部会長「それでは、今日の部会審議を始めたい。まずは事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料5に基づき説明）

児玉部会長「まずは、部会の名前を決めたい。事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料5-1に基づき説明）

児玉部会長「何か質問はあるか。（なし）では、意見はあるか。私としては  
「安心生活」というのがよいと思う。」

ペレーラ委員長「「安心・安全」はどうか。」

児玉部会長「ほかにあるか。（なし）それでは、決をとりたい。」

安心生活・・・6人

安心・安全・・・6人

事務局高橋専門調査員「代表者会議の決まりでは、同数になったときは議長が決めるということになっている。」

児玉部会長「では、「安心生活部会」とさせていただきたい。続いて、今日の審議テーマの医療・保険について、事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料5-2、5-3に基づき説明）

児玉部会長「何か質問や意見はあるか。」

劉委員「MICかながわは、なぜ個人で依頼できないのか。」

事務局高橋専門調査員「理由は2つある。1つは、リソースが限られていること。つまり、個人からの依頼に対応するには通訳者の数が足りない。もう1つは、この制度の目的が、外国人支援ではなく、医療機関を支援することだからだ。」

レイバーマン委員「MICかながわのほかに病院が利用している通訳サービスはあるのか。」

事務局高橋専門調査員「川崎市として把握しているのは、川崎市立の病院とMICかながわだけなので、それ以外の病院や通訳サービスについてはわからない。」

劉委員「2週間ほど前に救急車を呼んだのだが、外国語が使えるのを知らなかった  
ので、日本語で対応した。中国語でお願いしますといえ、中国語で対応して  
もらえるのか。」

事務局高橋専門調査員「番号は119番だけなので、最初から中国語で対応してくれ  
るわけではないが、日本語が通じなかったり、希望すればつないでくれると思  
う。」

児玉部会長「この会議で実際にテストしてみることはできるか。」

事務局高橋専門調査員「詳しい話を担当に確認して補足説明することはできるが、  
実際にテストするのはやめて欲しい。」

ボソ委員「私たちが知りたいから詳しいことを聞くのではなく、多言語に対応して  
いることをどうやって多くの外国人に知ってもらうかを考えるべきではない  
かと思う。」

金委員「10年前に1回だけ使ったことがあるが、そのときには通訳サービスはなかったと思う。」

児玉部会長「そろそろ時間なので、次に進みたい。次回は保育園・幼稚園についてだが、何か資料のリクエストはあるか。」

バテネフ委員「今回と同じように、基本的な情報と課題を整理した資料を準備してほしい。とくに外国人に特有の課題があれば、それを知りたい。」

ペレーラ委員長「保育園の入所基準について知りたい。」

レイバーマン委員「関連する過去の提言も知りたい。」

児玉部会長「それでは、今日の部会はこれで終わりにする。」

### 【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、全体会を再開する。まずは部会報告を部会Bからお願いする。」

児玉部会長「まず、部会Bの名前は、安心生活部会になった。今日、審議したのは医療・保険についてだ。審議の中で出た意見としては、大きく3つある。1つ目は、なぜMICかながわは個人で依頼できないのかという質問があった。回答としては、通訳者のリソースの問題とMICかながわの医療通訳は外国人の支援ではなく、医療機関の支援という位置づけだからだ。2つ目は、MICかながわのほかに医療通訳のサービスはあるか、というものだった。回答としては、市で把握しているのは市が利用している制度なので、ほかに利用されているサービスについてはわからないということだった。3つ目は、119が多言語に対応できることわかったので、試してみたいという意見が出た。それに対しては、実際に試すのは迷惑になるのでやめて欲しいということだった。次回の審議テーマは、保育園・幼稚園だ。安心生活部会の報告は以上だ。」

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。」

アディティア委員「MICかながわとは何か。」

児玉部会長「神奈川県で医療通訳を派遣しているNPOのことだ。」

ペレーラ委員長「ほかにあるか。(なし)続いて、部会Aの報告をお願いします。」

前田部会長「部会Aの名前は、国際コミュニティ部会になった。今日、審議したのは異文化交流についてだ。意見としては、国際交流センターの認知度が低いので、情報発信の方法の改善として、留学生のいる学校や外国人が働いている会社

にチラシを置かせてもらうなどが出た。国際交流センターでの取組については、文化系の事業が多く重複もしているのではないかと、若者向けが多いが高齢者を対象としたものも必要ではないかと、といった意見も出た。SNS やインターネットの活用拡大といった意見では、YouTube での情報発信や区役所のモニターなどに簡単な1分動画を流してもらうといったものが出た。ほかには、外国人市民意識実態調査で認知・利用度が比較的高かった市民館と図書館をうまく活用できないかといった意見も出た。次回の審議テーマは、地域貢献になった。報告は以上だ。」

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

#### 【事務連絡】

- ・年次報告書について
- ・源泉徴収票の送付について

ペレーラ委員長「それでは、これで今日の日程は終了だ。次回の会議は、1月17日、日曜日、川崎市国際交流センターで開催する。これで、2020年度第3回第2日の会議を終わりにする。」